



リレーファイルみらいQ & A



Q1 『リレーファイルみらい』はどのような人を対象に活用しますか？

- 障がいや病気の有無にかかわらず、学校や地域生活において特別な支援や配慮を必要とする人のために活用します。

Q2 『リレーファイルみらい』は誰が作るのですか？

- 基本的には、保護者が主体となって作成していきます。記入の際には、本人の思いや願いも反映していくことも大切です。また、保育や教育、医療や福祉サービスの内容など、保護者が把握しにくい内容については、支援者に協力をお願いしていくことも大切です。

Q3 『リレーファイルみらい』は誰が保管しますか？

- 原則として、ご本人・保護者、またはそれに代わる立場の方（後見人等）が責任をもって保管します。記載する内容は、大変重要な個人情報ですので、プライバシーの保護など、十分な注意が必要です。

Q4 『リレーファイルみらい』はどんなことに役立ちますか？

- 『リレーファイルみらい』は支援をつないでいくためのツール（道具）です。『リレーファイルみらい』を整理していくことで、これまでどのような支援を受けてきたのか、どのような支援を必要としているのか、新たに関わる支援者に情報を伝えやすくなり、新しい相談機関に行くたびに同じことを何度も始めから説明しなくてすむようになります。

また、教育の場においては『個別の教育支援計画』や『個別の指導計画』を作成する上での重要な情報源となります。『リレーファイルみらい』は子どもの支援に関わる人たちと情報を共有することに役立ちます。

Q5 『リレーファイルみらい』はすべて記入しなければならないのですか？

- すべての項目を記入する必要はありません。子どもの支援にとって必要と思われる項目を選択して活用します。子どもの特性や伝えたい情報に応じて、項目や内容を付け加えたり、削除したりしてもかまいません。子ども一人一人特性は異なりますので、オリジナリティも大切です。

Q6 『リレーファイルみらい』はいつから作成したらいいのでしょうか？

- 記入開始に決まった時期はありません。保護者の方が「子どもの特性を理解してもらいたい」「子どもにとって必要な支援を継続して行ってもらいたい」と思われたときに『リレーファイルみらい』を活用しはじめることが望ましいと考えられます。

必ずしも過去にさかのぼって記入する必要はありませんが、小さい頃のエピソードが支援の手がかりとなることもあります。無理のない範囲で記入してください。

Q7 エピソード記録にはどんなことを書いたらいいのでしょうか？

- 子どもが初めて体験したことやできるようになったこと、家族旅行や学校行事などの成長の過程を記録します。子どもの様々な成功体験や失敗経験が、後々の支援の手がかりとなることもあります。「こうしたら、うまくできた」など支援のポイントが記録されると大変参考になります。アルバム風に用紙に写真を貼って、記録を残すなど工夫してみてもいいかもしれません。

★ 上手な活用のポイント ★

- 手帳類（母子手帳、療育手帳等）や診察券等を保管できるジッパー付きのファイル用クリアポケットと一緒に綴じ込んでおくと便利です。
- つぎの資料と一緒に挟み込むことで、書き込む手間が省けます。

● 母子手帳	● 個別の指導計画	● 個別の教育支援計画
● 通知表	● 健康診断の結果	● 事業所のフェイスシート写し
● 薬の記録	● 寄宿舍の記録	● 個別支援計画
● おくすり手帳	● サービス受給者証	● 障がい手帳